

3 インキュベーション

先進技術を起点としたビジネス創出を推進する インキュベーション活動の紹介

技術革新統括本部技術開発本部イノベーションセンタ（以下、イノベーションセンタ）では、グローバルの拠点間で連携し、先進技術の検証やお客様との共創を行っている。お客様への提案力の強化、骨太な案件の創出を目的に、2023年度よりイノベーションセンタで活動を開始した「Biz Incubation チーム」の取り組みを紹介する。

ビジネス開発強化に向けて 組織体制・戦略を整備

NTT データグループでは、2022年8月にグローバル全体で技術戦略を定め、選定した先進技術テーマを検証・展開する組織として世界6カ国にイノベーションセンタを設立した（図1）。世界中から集約した先進技術に関わる知見やノウハウをもとに、実証実験などお客様との共創を進めている。

イノベーションセンタでは、今後の事業拡大に向けて、2023年4月、OpCo・社内事業部門との連携・お客様への提案の強化を担う専門部隊として、イノベーションセンタ内に Biz

Incubation チーム（以下、インキュベーションチーム）を立ち上げた。

イノベーションセンタでは、技術チームが個別に提案活動を行うことが多かったが、インキュベーションチームの設置により、ビジネス開発に特化したメンバーが技術のエキスパートおよびOpCo・社内事業部門やお客様との橋渡しとなり、イノベーションセンタ各拠点の活動を戦略的に展開することが可能になる。

インキュベーションチームは、ステークホルダと密に連携し、現場の声をもとにした課題とニーズの把握、より共感を得られるユースケースの検討、お客様向けの提案などを主導している。これらの活動を通し



株式会社 NTT データグループ
技術革新統括本部 技術開発本部
イノベーションセンタ
部長 池田 大作氏

て、お客様との共創の起点となるようなリード獲得を進めるとともに、本格的な商用案件の創出をめざす。

先進技術のビジネス化に向けた 具体的な取り組み

インキュベーションチームでは、ビジネス開発スキル・業界知識に長けた専門人財を事業分野や領域毎に配置し、社内事業部門だけでなく、各OpCoと連携しながら、グローバルレベルでのビジネス開発を行っている。本記事では、インキュベーションチームが2023年度1Qに開始した取り組みの一部を紹介する。

① グローバル各拠点との 戦略アライン・資材整備

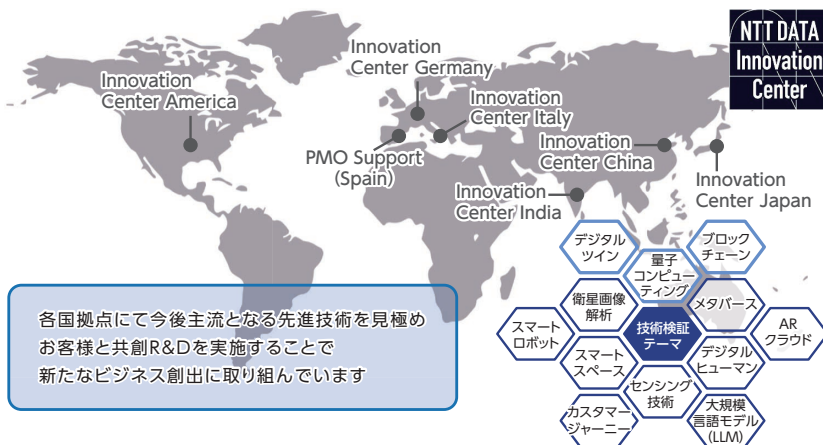
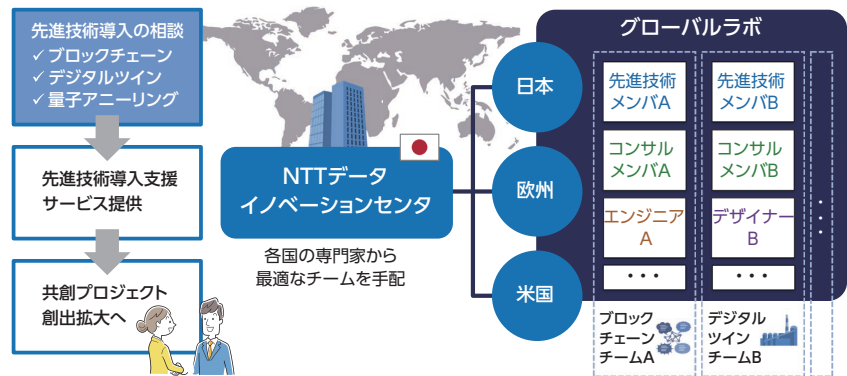


図1 イノベーションセンタの概要

イノベーションセンターでは、インキュベーションチームが中心となり、グローバルレベルでの戦略の調整・合意形成に取り組んでいる。

特に注力して提案を行うターゲット顧客の設定や共有、現場の声をもとにした業界・分野別ユースケースの開発、お客様や事業部門に向けたグローバル共通での標準提案資料の整備を進める。



この仕組みにより、お客さまは、NTTデータ イノベーションセンターのグローバルR&D体制・ケイパビリティを最大限に活用できます

図2 先進技術導入支援サービス

② グローバルの拠点横断での

サービス展開

イノベーションセンターでは、グローバルで先進技術を展開するために、拠点横断でのサービス展開を行っている。また、グローバル企業のお客様に対し、特定の拠点での成功事例を、同じお客様の別拠点で展開する試みも行う。一例として、海外のグループ企業が持つ会話型AIプラットフォームEVAの海外での導入事例を、同じお客様の日本拠点にも展開しようと提案を進めている。

③ パートナーシップ獲得の強化

イノベーションセンターでは、ビジネスの創出・拡大に向けて、お客様との共創の土台となる、イノベーションパートナーシップの獲得を推進している。ビジネス現場で実用可能な価値の創出および事業化に向けて、インキュベーションチームでは、社内各事業部門とのディスカッションを通じ、お客様への先進技術提案の戦略を策定。パートナー獲得に向けた顧客接点の拡大を図り、昨年度比でパートナー獲得数2倍をめざす。

④ お客様向けワークショップ

共創のきっかけ、また先進技術の

効果的な適用先を探索する場として、お客様参加型ワークショップのグランドデザインを作成した。ワークショップの成功事例を数多くもつイタリア拠点のノウハウも参考に、お客様が、グローバル各拠点の技術を体験しながら「自身の課題」×「先進技術」の糸口を掴むことができるような場となるよう、準備を進めている。

今年度注力する3つの先進技術テーマの導入サービスを推進

イノベーションセンターでは、取り組みテーマの中でも特に、技術検証を経て実用化段階にあると判断した下記3つの先進技術テーマの活動に注力。インキュベーションチームの活動においても、案件創出に向けて重点的に提案を行っている(図2)。

- ・ブロックチェーン
- ・デジタルツイン
- ・量子コンピューティング

他社に先行し取り組みを進めてきたブロックチェーンでは、検証段階から事業へと繋がる案件が増えており、Web3・NFTにおける活用も広がってきている。デジタルツインにおいては、IoT技術の拡張として、

サイバー空間上に現実の事象をよりリアルに再現、試行錯誤を行うことによって、ビジネスを最適化したいというニーズが高まっている。また、圧倒的な処理能力を持ち、新たなAI学習のアプローチとして期待される量子コンピューティングでは、組合せ最適化問題に特化した量子アニーリング方式においてユースケースが検討され、徐々に実用化も始まっている。

これらの動向や内部での技術検証結果を踏まえ、イノベーションセンターでは、お客様向けに3つの先進技術の導入を支援するサービスを発表している。お客様にベネフィットを提供するため、高度な専門性をもつ人財がこれまでに培った先進技術導入のノウハウを生かし、最適な技術・製品の提案から、具体的な適用方法、システム実装までニーズに合わせたメニューをグローバル体制で提供する。先進技術の導入や活用にご興味のある方は、ぜひお問い合わせいただきたい。

※参考：ブロックチェーン・デジタルツイン・量子アニーリングの導入支援サービスを提供開始
<https://www.nttdata.com/global/ja/news/release/2023/042101/>